

実践記録（小5・社会）

1 ねらい

自分で調べたことや友達のを考えを基にして、自分なりの考えをもつことができるようにする。

2 手立て

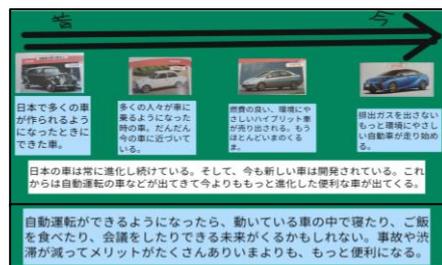
・ 知識シート（資料1）

ロイロノートを活用し、学習内容をまとめる「知識シート」を作成する。知識シートは、教科書、資料集に掲載されている写真やグラフ、NHK for school などを利用してまとめていく。これにより、個々のペースで理解を深めながら学習を進めることができる。と考える。

・ 情報創造シート（資料2）

知識シートの作成後、「情報創造シート」を記入する。情報創造シートは、タブレット上で知識シートの情報を確認しながら記入できるように、紙ベースで作成した。

これにより、伝えるだけでなく、対話の中で工業生産の「工夫」「課題」「これから」を考えやすくする。



資料1 児童が作成した「知識シート」

| 自動車 | 自動車をつくる工業 | 自動車の部品をつくる工業 | 自動車開発の強い | 共通 |
|------|---|--|---|---|
| 工夫 | 昔から今までの車の変化を基に、環境にやさしい自動車や、自動運転の自動車についてなどを知識シートにまとめることができた。 | 1つの工業が新しい技術を開発することで、他の工業にも影響を与えている。例えば、自動車の部品をつくる工業は、自動車の開発に欠かせない。また、自動車の部品をつくる工業は、自動車の開発に欠かせない。また、自動車の部品をつくる工業は、自動車の開発に欠かせない。 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 |
| 課題 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 |
| これから | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 | 自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。また、自動車の開発には、多くの技術者が関わっている。 |

資料2 「情報創造シート」

3 実践の様子

実践では、児童が「暮らしを支える工業生産」「自動車をつくる工業」「工業生産を支える輸送と貿易」の3つの小単元から選択した分野の内容を教科書・資料集・NHKのクリップ動画等から調べ、知識シートにまとめた。「自動車をつくる工業」を選択し、学習内容をまとめた児童は、昔から今までの車の変化を基に、環境にやさしい自動車や、自動運転の自動車についてなどを知識シートにまとめることができた。

これらの学習を終えた後、学習内容を共有した（資料3）。共有では、「情報創造シート」を活用した。情報創造シートには、「工業生産の工夫」「課題」「これから」の3点を観点として設定した。この3つの観点を基に対話をする中で、学習した内容を発表するだけでなく、学習した内容をあくまで材料にして、対話の中で工業についての自分なりの考えを創り上げることができると考えた。

対話の後、完成した情報創造シートには、「工業生産の工夫」として、「機械を注文通りに作るアンドンや指示ピラが工夫されている」ことに加えて、対話の中で気付いた「早く・安全にということを意識している」こと、「課題」として、「様々な部分で二酸化炭素を排出してしまう」ことや「外国のものを輸入にして、それに頼っている」こと、「これから」として、「二酸化炭素を出さない工業を目指していく」ことが記述されていた。しかし、「日本は品質が高い」や、「外国のものを輸入してしまい、日本のものが減った」と断言している一方で、本人にその内容を詳しく聞くと、自分なりの考えを言葉で説明することができず、情報の創造まで至らない部分もあった。



資料3 学習内容を共有する児童

4 成果と課題

- 知識シートや情報創造シートを使った意見の共有場面では、課題に対して自分で調べたことや友達のを考えを基にして、自分なりの考えをもつことができた。
- 情報をそのまま伝えるだけの児童もいた。